

(協) 日本接骨師会 登山 勲 会長 殿

平成27年11月26日

長崎日接会

会長 川口 陸郎

## 乳幼児医療助成長崎県懇談会

日時 平成27年11月24日(火)

会場 県庁・会議室

出席者 県こども家庭課課長

〃 課長補佐

公明党長崎県県議

(協) 日本接骨師会

長崎日接会

川崎 祥司

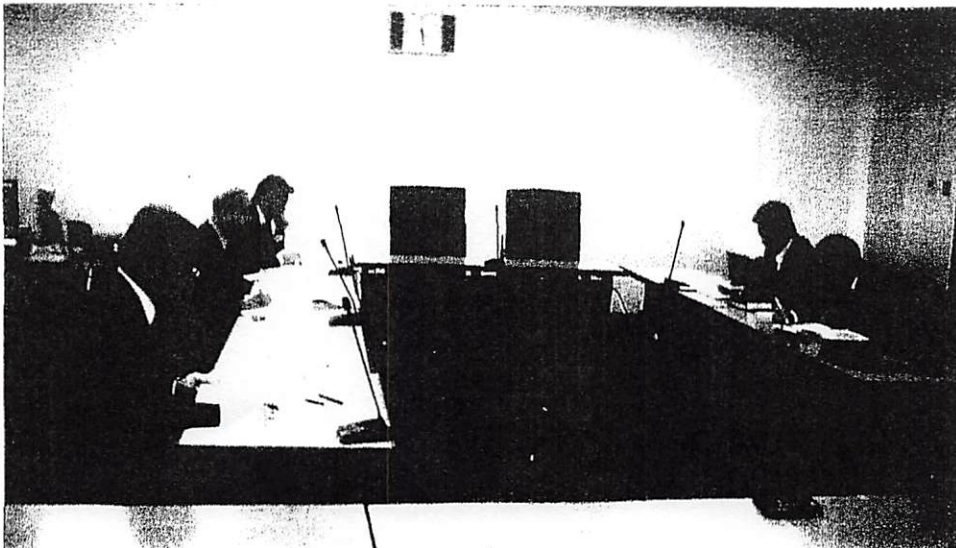
登山 勲 会長

川口・山口・堤

議題： 乳幼児医療助成受任者払い制の進捗状況について

### 【内容】

「前回も言ったようにやらないとは言ってない。来年1月に予定している福祉協議会で各市町の課題などを聴いて対処したい。その前に、どのような問題点があるのか調査する予定だ。」――8月から進展の気配なし。しかし今回は登山会長の圧力発言？に少しは気が引き締まった模様。現場を知らずして監督指導を語るべからずなのに、前回は堂々と言い放った。基礎から勉強せよと言われても致し方ない。不知の人が、現場からの意見や質問に説得させる様な回答が出来るわけが無い。どの程度学習して心機一転頑張り差別解消を図るか見物です。



平成27年11月24日

公明党長崎県本部 御中

協同組合日本接骨師会

長崎日接会会長 川口 陸郎

### 乳幼児医療費助成受領委任払い柔道整復師医療対象の要望

#### 要望の趣旨

乳幼児医療費助成受領委任払い取り扱いについて、柔道整復師医療も対象とし乳幼児医療の受診体制整備を図られるようお願い申し上げます。

#### 要望の理由

本件は、国の施策とも合致するものです。そして、医師・歯科医師では既に実施です。だが、柔道整復師は放置です。これは、国が健康保険制度をはじめ各医療保険制度で国民の医療の確保の見地から柔道整復師医療も対象として療養費受領委任払い制を図り国民の便益確保の趣旨や精神について取り組み長崎県にあっても同じとすることを拒否する疑問で、特に、その拒否理由として医師・歯科医師には言わない「財政負担困難市町村の存在」をあげる問題です。これは、その他の地域でこの対象となる乳幼児に対する便益無視の疑問で、行政の本旨に悖る疑問です。

本件については既に4年になりますが未だお座なりです。そこで所管課に対し、この理解困難者なら理解できる者と交代してでも速かに乳幼児医療助成費の整備を図り、該当する地域の乳幼児の便益確保を図られるよう指導を賜りたくお願い申し上げます。

#### 備考

本件は、この基となる各医療保険制度で国民の医療選択の大事による柔道整復師医療選択の確保のために受領委任払い制の確保を図っていることに対し、県当局が本件「医療助成費取り扱い」で償還払いとし、患者の償還手続き繁雑での請求放棄を惹起させたり、或は、その前段の負担分費用問題で柔道整復師選択をためらい躊躇させる問題の回避の大事で、これは行政の責務です。